

三浦佑之先生×古橋信孝先生トーク&サイン会

# 日本列島人の姿を求めて

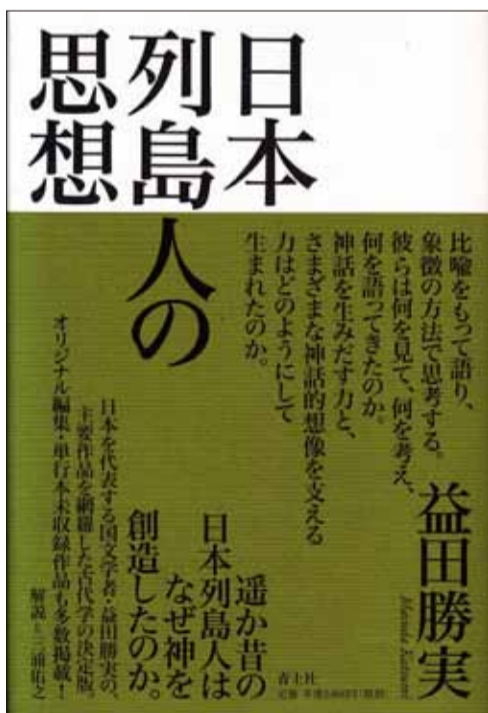
古代文学・民俗学・歴史から考える

日時:2016年1月21日(木) 19時開演(18時30分開場)

会場:八重洲ブックセンター本店 8階ギャラリー

※トーク終了後、会場にて書籍をご購入いただいたお客様を対象にサイン会を実施いたします。  
(但し、お持ち込みの本・色紙・グッズ等へのサインはできませんのでご了承ください。)

日本列島人はどんな言葉を話し、どんな物語を持っていたのだろうか。この度は益田勝実『日本列島人の思想』(青土社)の刊行を機に、『日本列島人の思想』で解説を寄せた三浦佑之氏と、『文学はなぜ必要か』(笠間書院)で新しい日本文学史を描いた古橋信孝氏の二人が、日本文学のおもしろさと、文学の世界に民俗学、歴史学、考古学など他領域の視点を導入し、古代文学を研究した益田勝実の魅力と特性のなかから、日本列島人の姿を追い求めます。



三浦佑之 (みうら すけゆき)

1946年、三重県美杉村(現・津市)生まれ。成城大学文芸学部卒業、同大学院博士課程単位取得退学。共立女子短期大学、千葉大学を経て、現在、立正大学教授。古代文学・伝承文学を専攻する。『口語訳 古事記』(文藝春秋)で第一回角川財団文芸賞、『古事記を読みなおす』(ちくま新書)で第一回古代歴史文化みやざき賞を受賞。その他の著作に『神話と歴史叙述』(若草書房)、『古事記講義』(文藝春秋)、『日本古代文学入門』(幻冬舎)、『金印偽造事件』(幻冬舎新書)、『古事記のひみつ』(吉川弘文館)、『平城京の家族たち』(角川ソフィア文庫)、『日本霊異記』の世界(角川選書)、『古代研究』、『増補新版 村落伝承論』、『昔話にみる悪と欲望 増補新版』(いずれも青土社)など多数。

古橋信孝 (ふるはし のぶよし)

1943年東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了。博士(文学)。武蔵大学名誉教授。著書に『古代和歌の発生』(東京大学出版会、1988年)、『神話・物語の文芸史』(ペリかん社、1992年)、『古代都市の文芸生活』(大修館書店、1994年)、『和文学の成立 奈良平安初期文学史論』(若草書房、1998年)、『平安京の都市生活と郊外』(歴史文化ライブラリー、吉川弘文館、1998年)、『物語文学の誕生 万葉集からの文学史』(角川叢書、2000年)、『誤読された万葉集』(新潮新書、2004年)、『日本文学の流れ』(岩波書店、2010年)ほか。



## 参加方法

- ▼参加定員 : 80名(申し込み先着順) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ▼申込方法 : 1階カウンターにてお申し込みください。整理券を差し上げます。  
また、お電話によるお申し込みも承ります。(TEL:03-3281-8201)  
(整理券1枚につき、お1人のご入場とさせていただきます。)
- ▼参加費 : 税込 500円 イベント当日会場入口にて整理券をご呈示の上、参加費をお支払いください。

※お預かりした個人情報(氏名・電話番号)は、お申込みのイベントが中止、もしくは日時が変更になった場合のご連絡のみに使用致します。